



われら仲間 あつち歌手!?

今年の五月から活動を始めたこのカラオケ教室、ふだんは前永田と永田北の公民館にわかれて、それぞれ二十人程度が週一回の練習を、東京で歌の勉強をしている岡林定喜先生のもと、熱心に取り組んでいます。

「みなさんよく話しを聞いてくれてまじめです。それぞれの人間性がいからチームワークがすごくいいですね。」

歌は最初のころよりかなり上達しました。歌うことがわかってきたみたいですね」と岡林先生は絶賛。

現在男性が三人しかいないので「ぜひ一緒に」とのことです。

練習のときには真剣な皆さんも、この日は初めての合同

このコーナーでは、同じ趣味を持った方たちの楽しい活動風景を紹介しています。

「私たちのサークルを取材してほしい」と思われる皆さん、ぜひご連絡ください。

応募方法 サークルの代表者の氏名、住所、電話番号、活動場所、それに活動内容を簡単に明記

あて先 〒783 南州市大浦甲二二〇一 南州市企画課 広報統計係



今回は前永田公民館 永田公民館のカラオケ教室の合同お月見会におじゃましました。

会ごとあってにぎやかなもの、ときのたつうち、お酒のせいもあってか、歌にあわせてダンスを踊ったりとムードは最高潮。

そんな盛り上がりの中お月見会の夜はふけていきました。

これはなんでしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

しめきり 11月10日

あて先 〒783 南州市大浦甲二二〇一 南州市企画課 親子クイズ係

賞品 正解者の中から抽選で5人の方に図書券を進呈

◎第10回親子クイズの答えは、くり(いがり)でした。

第10回当選者発表(敬称略)

西岡美友 (緑ヶ丘)

森真菜 (駅前町)

小松梓 (比江)

土居功幸 (十市)

深見彰 (大浦)

お便りの中から皆さんの思い出の一部をご紹介します。

◆中の栗の実を取り出すのにどうにさされて、随分困った思い出があります。

◆ぼくがはじめてくりひろいに行ったとき、木を見てどこにあるのかなとさがしました。いっぱいがおちっていて、さわっていたかたけど、その中にくりを見つけたときはうれしかったです。

◆栗おいしいですね。今年は高いようで、まだ食べていません。実家の山へ行ったらたくさんのが落ちていました。

◆お父さんが裏山に植えた栗がなりだして今夜もゆでて食べました。蚊取り線香をつけて拾いに行きます、たくさんあります。

◆くりといえは運動会！わたしが子供のときは、母が運動会るとき、必ずくりをビニール袋いっぱいに入れてスプーンをそえて持ってきてくれました。

◆私たちの子供のころは、よくくりの実を拾いに行ってゆでくりにして食べたり、運動会には必ず、くり拾いをしていました。今は家にもほとんどなく、懐かしいやら、さびしい気がします。

◆昔は山でよく見かけましたが、このころはスーパードしか見たことがありません。

市民サロン

このページは市民の皆さんが作るページです。短歌、俳句、川柳などの文芸作品やどんなことでも結構ですので皆さんのご意見をお気軽にお寄せください。

締め切りは毎月10日です。

あて先は南州市企画課市民サロン係(〒783 南州市大浦甲2301)です。

兄貴、指定されたのむせよ…
沢本英世(里改庄)



六月四日、ペーターの横畑とサイルを組み、最終キャンプ五二〇〇峰を出る。五

今年六月、北アメリカの最高峰、マッキンリー(標高六一九四四・アラスカ州中部の雪山)の登頂に成功した横畑謙一さん(福生)。

そのときの様子を先月と今月の二回にわけて執筆していただきました。

五〇〇〇の標高に到達した時、ものすごい風が吹きつけ、体が寒い。気温はマイナス二〇度くらいだが、体感温度はずっと低くなる。山では風が敵だ。一瞬、頂上への不安がよぎるが、突風がないのでアタックすることにした。後継の愛蔵バーティが気になつたが、登り始める。

六〇〇〇峰を越えると、空気が下界の半分以下の薄さになり、息が苦しく、足も重くなり、全くのスローペースに



なつた。風を避ける所がなく、吹きさらしで休む気にもならず、横畑と励まし合い、ただ無心で頂上への執念だけで進む。

十五時五十分、登頂。北米大陸で一番高い場所に立った。

(終)

南国俳壇

梅妻や山鼻きて早稲の秋
受け病棟の面接時間鶏頭花
内職のどこか狂うななかまど
体調は良好コスモス使らさく
お茶の花父を憶へば母のこと
横右往左往図書館休館日
深井戸を覗く子もをり地蔵盆
芝草にわたら一筋窓の道
みぞ蕎麦をくぐる水音がすかなり
鶏頭や白蟻の下駄の憎著し

上末松 島田清子

比江 馬場左枝
国分 高村三喜子
古市 長野扇女
物部 山川邦子
大藤 瀧淵由紀男
前浜 中村祭生
長岡 黒岩めぐみ
上末松 西岡富子
上末松 島田清子

南国歌壇

日々気遣子の愛うけて八十路ゆく
初冬の風はことよる朝の萩
床屋行き一つ落として歌しいシワ

十市 武市日出志
一行 大塚秀喜
十市 八松久幸

南国歌壇

苦しみも又安らぎも照らしいん
秋の夜をゆゆ医大の灯
いくばくか心の糧にならむやと
始めし書道も重き荷となる
プロ野球全話少ない夫婦でも
ファインブレに歓声をあげ

三島 小笠原穂子
西島 門田美枝子
浜改田 楠瀬富子